使役表現のmake

The mallet made ＜him＞[big].

その小槌が、＜彼を＞［大きく］した。

Point

① make は、「～をつくる」という意味以外に
下のような使い方をして、使役の表現ができます。

主語 make A B
＜人・もの＞ ［形容詞］

主語が ＜Aを＞［Bに］ する・させる

②日本語の「～する・させる」は、受け身や尊敬でも使われるので注意しましょう。

③ A の部分には名詞が来ますが、代名詞がくることが多いです。動詞の後ろなので、目的格（me, you, him, her, it, them）の形を使います。

1．(　　)内の適する語に○をつけましょう。

(1) The book makes (my / me) happy.　　その本は私を幸せにします。

(2) His songs made (she / her) sad.　　彼の歌は彼女を悲しくさせました。

(3) The letter will make (him / he) angry. 私の手紙は彼を怒らせるだろう。

2．日本語に合う表現になるように（　　）内の語を並べ替えましょう。

(1)（ happy / made / me / the birthday present ）。その誕生日プレゼントは私をしあわせにしました。

(2)（ his / made / news / mother / the / sad ）。その知らせが彼の母親を悲しませた。

(3)（ the movie / us / makes / excited ）。その映画は私たちをわくわくさせます。

(4)（ him / what / angry / made ）？　何が彼を怒らせたのですか。

3．次の文を日本語にしてみましょう。

(1) The book made me sad.（　　）

(2) Learning makes us happy.（　　）

(3) Love makes the world peaceful.（　　）

使役表現のmake

The mallet made <him> [big].

その小槌が、<彼を> [大きく] した。

Point

① make は、「～をつくる」という意味以外に
下のような使い方をして、使役の表現ができます。

主語 make A B
<人・もの> [形容詞]
主語が <Aを> [Bに] する・させる

②日本語の「～する・させる」は、受け身や尊敬でも使われるので注意しましょう。

③ A の部分には名詞が来ますが、代名詞がくることが多いです。動詞の後ろなので、目的格（me, you, him, her, it, them）の形を使います。

1．(　　)内の適する語に○をつけましょう。

(1) The book makes (my / me) happy.　その本は私を幸せにします。

(2) His songs made (she / her) sad.　彼の歌は彼女を悲しくさせました。

(3) The letter will make (him / he) angry. 私の手紙は彼を怒らせるだろう。

2．日本語に合う表現になるように（　　）内の語を並べ替えましょう。

(1)（ happy / made / me / the birthday present ）。その誕生日プレゼントは私をしあわせにしました。

The birthday present made me happy.

(2)（ his / made / news / mother / the / sad ）。その知らせが彼の母親を悲しませた。

The news made his mother sad.

(3)（ the movie / us / makes / excited ）。その映画は私たちをわくわくさせます。

The movie makes us excited.

(4)（ him / what / angry / made ）？　何が彼を怒らせたのですか。

What made him angry?

3．次の文を日本語にしてみましょう。

(1) The book made me sad.（　その本が私を悲しくした。/その本を読んだので、私は悲しくなった。　）

(2) Learning makes us happy.（　学ぶことは私たちを幸せにする/学ぶことによって、私たちは幸せになる。　）

(3) Love makes the world peaceful.（　愛は世界を平和にする。/愛によって、世界は平和になる。　）